



# 青い花が続々と誕生！

たんじょう



母の日といえば、カーネーション、お花屋さんに並ぶいろいろなカーネーションのうち、特別なものが一つだけあります。それは、青いカーネーションです。この青いカーネーションは、人工的な操作（バイオテクノロジー

ジーによって作られました。バイオテクノロジーによって作られた「青い花」は、カーネーションのほかに、バラ、キク、ユリなどがあります。ここでは、そんな「青い花」のお話をします。

## ◆どうして青い色の花が咲くの？

花は、色を決める成分（色素）を持っています。その中で、青い色のもとになる色素を「デルフィニジン」といい



ます。青い花を咲かせているリンドウやアサガオはデルフィニジンを作ることができませんが、青い花が咲かないバラやカーネーションはデルフィニジンを作ることができます。



### ◆不可能を可能にする技術

そこで、バイオテクノロジーの技術を使ってデルフィニジンを植物に作らせました。まず、青い色素を作るための仕組みを青い花からとってきて、青い花が咲かない品種に組み込み、それを試験管内で育てることで、青い花を作り出すことに成功したのです。

青いバラを表す英語「ブルーローズ」は「不可能、ありえないこと」の例えにも使われてきました。このバラを作った会社では、不可能を可能にしたことから、このバラの花言葉を、「夢かなう」としています。不可能への挑戦は、これから続きます。今後はいろいろな種類の花で、より「鮮やかな」青い花の誕生が期待されています。

